

農地中間管理機構関連農地整備事業

土地改良事業計画書

え の し ま ち く
江 野 島 地 区

徳 島 県

第1章	目 的	1	第4章	一般計画	17
第2章	地域及び地積	1	第1節	事業計画の要旨	17
第1節	地 域	1	1	要旨	17
第2節	地 積	1	2	事業別面積	17
第3章	現 況	2	第2節	営農計画及び土地利用計画	18
第1節	気象及び海象	2	1	営農計画の概要	18
1	一般気象	2	2	土地利用区分	18
2	特殊気象	2	3	作付方式	19
3	海 象	3	4	生産計画	20
第2節	土地状況	3	5	労働改善計画	21
1	地形、土壌及び侵食の程度	3	6	級地別土地利用区分	21
2	土地分類	4	7	土地配分計画	21
3	土地利用の状況	4	第3節	用水計画	22
4	土地所有の状況	5	1	計画基準年	22
第3節	水利状況	6	2	計画かんがい方式	22
1	用水状況	6	3	計画用水系統	22
2	排水状況	8	4	計画用水量	22
3	河川状況	8	5	水源計画	24
第4節	道路現況	10	第4節	排水計画	26
1	道路概況	10	1	計画基準雨量	26
2	主要道路一覧表	10	2	計画排水方式	26
第5節	地域農業の概況	12	3	計画排水系統	26
1	産業別就業人口	12	4	計画排水量	26
2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	12	5	排水対策	28
3	動力農機具及び主要家畜頭数	13	6	湛水検討	28
4	主要作物作付状況	14	第5節	道路計画	29
5	農業の動向	15	1	道路及び索道	29
第6節	地域環境の概況	16	2	路線配置図	29

第6節	農用地造成計画	31	第2節	排水施設	35
1	農用地造成計画	31	1	排水水門	35
2	土壌改良	31	2	排水機	35
第7節	洪水調節計画	31	3	排水路	35
1	計画基準雨量	31	4	その他排水施設	35
2	計画洪水量及び調節量	31	第3節	道路及び索道	36
3	貯水池	31	1	道路	36
4	洪水調節検討	31	2	索道	36
5	管理計画	31	第4節	農用地造成	36
第8節	干拓計画	31	1	農用地造成	36
第9節	農用地整備計画	32	2	土壌改良	36
1	区画整理	32	第5節	洪水調節施設	37
2	暗渠排水	32	1	貯水池	37
3	客土	33	2	頭首工及び導水施設	37
4	農地保全	33	第6節	干拓施設	37
第10節	老朽ため池改修計画	33	1	堤防	37
1	洪水吐改修計画	33	2	潮止め	37
2	堤体補強計画	33	3	付属施設	37
3	取水施設改修計画	33	4	埋立	37
第5章	主要工事計画	34	第7節	農用地整備施設	38
第1節	用水施設	34	1	区画整理	38
1	貯水池	34	2	暗渠排水	38
2	頭首工	34	3	客土	38
3	揚水機	34	4	除礫	38
4	用水路	34	5	農地保全	38
5	その他かんがい施設	34	第8節	老朽ため池改修施設	39
			1	貯水池	39
			2	堤体補強施設	39

第6章	附帯工事計画	39
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	39
第8章	環境との調和への配慮	40
第9章	換地計画の概要	41
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	41
第2節	換地区の設定	41
1	換地区の名称、所在、面積	41
2	換地区を設定する理由	41
第3節	換地計画樹立の基本方針	41
1	従前の土地の面積の基準	41
2	用途別予定地積	42
3	農用地集団化の方針	43
4	非農用地の換地方法	43
第4節	土地の評価及び清算の方法	43
1	評価の方法	43
2	清算の方法	43
第5節	換地計画樹立の年度計画	43
第6節	換地処分 of 時期に関する特則	43
第10章	事業費の総額及び内訳	44
	概算事業費の負担内訳	45
第11章	効 用	46
第12章	関連する事業	47
第13章	現況・計画図面	47
1	現況平面図	47
2	計画平面図及び土地利用計画図	47
3	主要構造図	47
第14章	予定管理方法等	48

第1章 目的

本地区は、阿南市那賀川町に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。農地の区画整理が未実施であり農作業効率が悪く、農業用排水路については老朽化が進行し、水管理や維持管理に多大な労力を費やすなど、営農に支障をきたしている。また、耕作者の高齢化や後継者不足に伴い、農地中間管理機構への貸付希望の増加が見込まれるが、現在の基盤整備状況では、担い手が借り受けられないおそれがあり、休耕地や耕作放棄地の増加が想定される。

そのため、本事業により区画整理による大区画化や道路・用排水施設の整備などの基盤整備を実施することで、農業の生産性向上ならびに担い手への農地の集積・集約化を促進し、本地域の農業競争力の強化を図ることを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農地中間管理機構関連農地整備事業	徳島県阿南市那賀川町

第2節 地積

(第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地中間管理機構関連農地整備事業	阿南市	61.2	0.1	-	-	2.3	63.6	
合計		61.2	0.1	-	-	2.3	63.6	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	徳島	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備考
観測期間	S. 32年～R5年	3月 ～ 9月	10月 ～ 2月		
平均気温(℃)		20.5	10.5	15.5	
降水量	平均(mm)	1187.0	479.6	1,667	
	基準年(mm)	1141.5	507.0	1,649	S52
降水日数	平均(日)	68.2	29.7	97.986	
	基準年(日)	77.0	23.0	100	S52
根雪期間	—				
無霜期間	3 月 14 日 ～ 12 月 18 日 279 日間				H. 3 ～ H. 31
最多風向	西北西		最大風速	35.8 m/s	S40. 9. 10

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
徳島																
観測期間	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
S. 32年～R. 5年	量			量			量			量			量			
最大日雨量(mm)	430	H23. 9. 20	1/320	365	S40. 9. 14	1/103	320	H25. 9. 15	1/46	314	H26. 8. 2	1/41	278	H16. 10. 20	1/22	
最大時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大4時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量(mm)	658	S40. 9. 13 ～S40. 9. 17	1/103	564	S36. 6. 24 ～S36. 6. 29	1/41	501	S51. 9. 8 ～S51. 9. 13	1/22	478	H12. 9. 8 ～H12. 9. 12	1/17	432	H9. 9. 7 ～H9. 9. 10	1/11	
最大連続干天日数(日)	72	S48. 11. 10 ～S49. 1. 20	1/139	62	H17. 1. 12 ～H18. 1. 12	1/37	52	S44. 12. 8 ～S45. 1. 28	1/11	51	S55. 12. 24 ～S56. 2. 12	1/10	50	H21. 12. 12 ～H22. 1. 30	1/9	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1)

事業名	地目	田							畑・その他							受益地標高		備考	
	傾斜区分	1/1000以上	1/1000	1/300	1/100	1/20	1/11.5	計	3°未満	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高 m		最低 m
			～1/300	～1/100	～1/20	～1/11.5	8°～10°				10°～15°	8°～15°							
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積(ha)	-	61.2	-	-	-	-	61.2	0.1	-	-	-	-	-	-	0.1	1.4	0.4	
	比率(%)	-	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0			
	面積(ha)																		
	比率(%)																		
合計	面積(ha)	-	61.2	-	-	-	-	61.2	0.1	-	-	-	-	-	-	0.1	1.4	0.4	
	比率(%)	-	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0			

2 土 地 分 類

(第4表-2)

項目 (区)土壌統名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積				備 考	
	土 壤 断 面							堆 積 様 式	母 材	事業名					
	色	腐 食	礫 層	酸化沈殿物	土 性					泥炭層 黒泥層 及び グライ層	農業用排水	農道	ほ 場 整 備		計
					表 土	下層土									
						一 層	二 層								
強グライ土壌 強粘土還元型D30	青色	なし	なし	含む	CL	LiC	LiC	あり	水積	未固結堆積物	－	－	40.0	40.0	
灰色土壌 粘土マンガン型F51	灰色	なし	なし	含む	SiCL	CL	CL	なし	水積	未固結堆積物	－	－	21.3	21.3	
計													61.3	61.3	

3 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	市町村別	土地利用別		耕 地 (ha)					山 林 (ha)		牧草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
				水 田 (ha)		普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	その他の樹園地					
		1 毛作田	2 毛作田以上												
農地中間管理機構 関連農地整備事業	阿南市	61.2	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	63.6	
合計		61.2	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	63.6	

4 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有地	国有地	県有地	市有地	計	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積 (ha)	61.3	-	-	-	61.3	
	関係戸数 (戸)	101	-	-	-	101	
	筆数 (筆)	416	-	-	-	416	
	権利関係	-	-	-	-	-	
	備考	-	-	-	-	-	
	面積 (ha)						
	関係戸数 (戸)						
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考						
合計	面積 (ha)	61.3	-	-	-	61.3	
	関係戸数 (戸)	101	-	-	-	101	
	筆数 (筆)	416	-	-	-	416	
	権利関係	-	-	-	-	-	
	備考	-	-	-	-	-	

第3節 水 利 状 況

1 用 水 状 況

(1) 用 水 系 統 別紙現況用水系統模式図による。

(2) 用 水 施 設

(ア) 取水方法一覧表

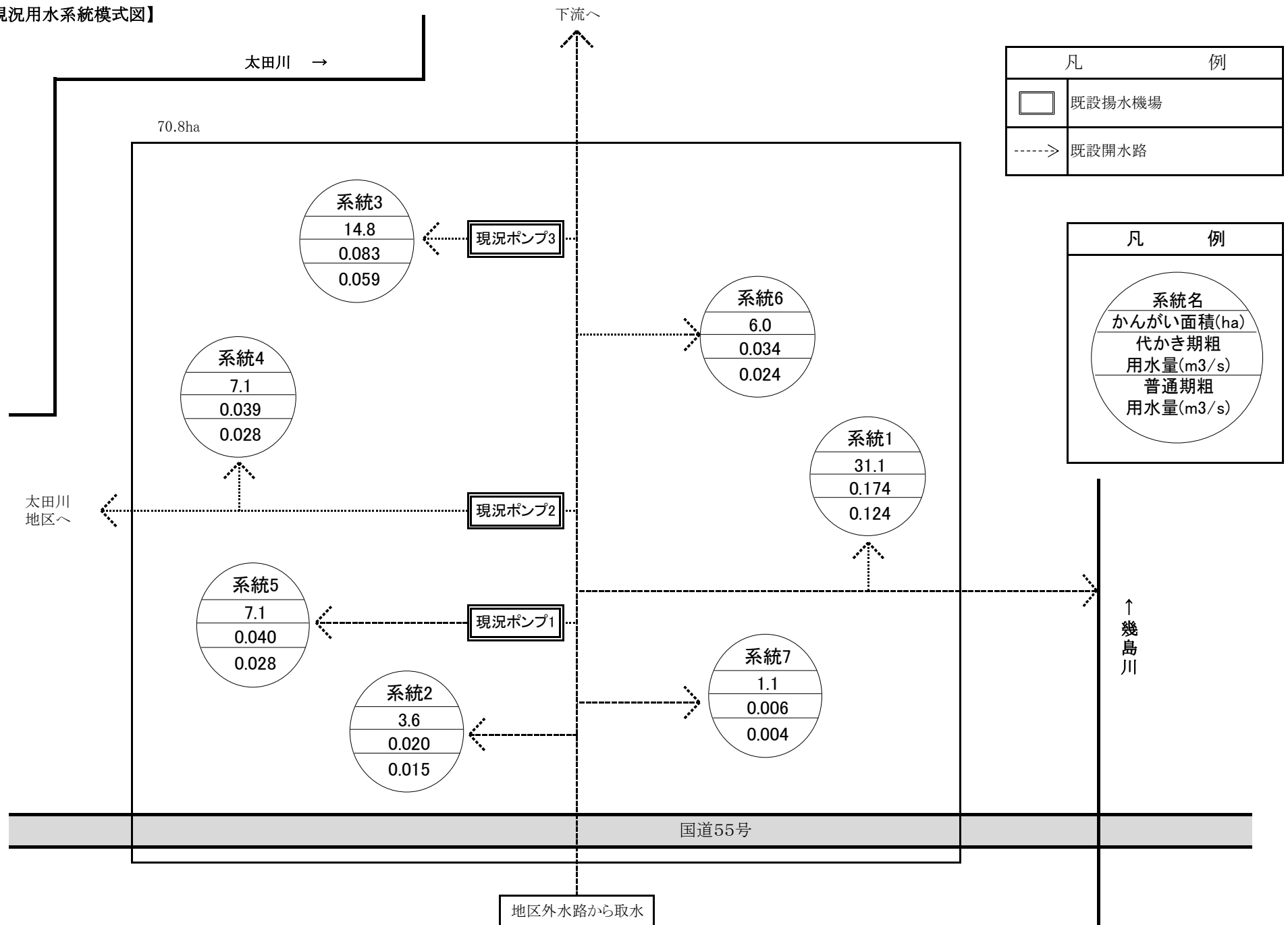
(第5表－1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		その他		備考
		50ha以上		50～10ha		10ha以下										
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	箇所	m3/s		
農地中間管理機構関連 農地整備事業	井 堰	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	
	自然取水口	-	-	3	35.8	-	-	3	35.8	3	0.170	-	-	-	-	
	貯 水 池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚 水 機	-	-	4	35.0	-	-	4	35.0	4	0.145	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	7	70.8	-	-	7	70.8	7	0.315					
合計		-	-	7	70.8	-	-	7	70.8	7	0.315					

(イ) 改修を要する施設一覧表 該当なし

(3) 用水に関する被害状況 水路は土水路、二次製品及び三面張コンクリート等であるが、老朽化及び脆弱化が著しく、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

【現況用水系統模式図】



2 排水状況

(1) 排水系統

別紙現況排水系統模式図による。

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目 施 設 名		排 水 面 積						計		排 水 慣 行	現況排水能力 (m³/s)	備 考
			500ha以上		499～100ha		99ha以下						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	自然	排 水 路	—	—	—	—	5.0	98.5	5.0	98.5	—	4.86	
		水 門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	機械	排 水 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計						5.0	98.5	5.0	98.5	—	4.86	
合計							5.0	98.5	5.0	98.5	—	4.86	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-3)

事業名	項目		箇所数	構造	規模	新設又は更新年月日	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農地中間管理機構 関連農地 整備事業	自然	排水路	－	コンクリート及び土水路	不定型	－	老朽化による漏水	
		水門	－	－	－	－	－	
	機械	排水機	－	－	－	－	－	
		水門及び排水機	－	－	－	－	－	
	計							
合計								

(3) 排水に関する被害状況

土水路、二次製品等であるが、老朽化及び脆弱化が著しく、用水路同様に維持管理等に大変苦慮している。

3 河川状況

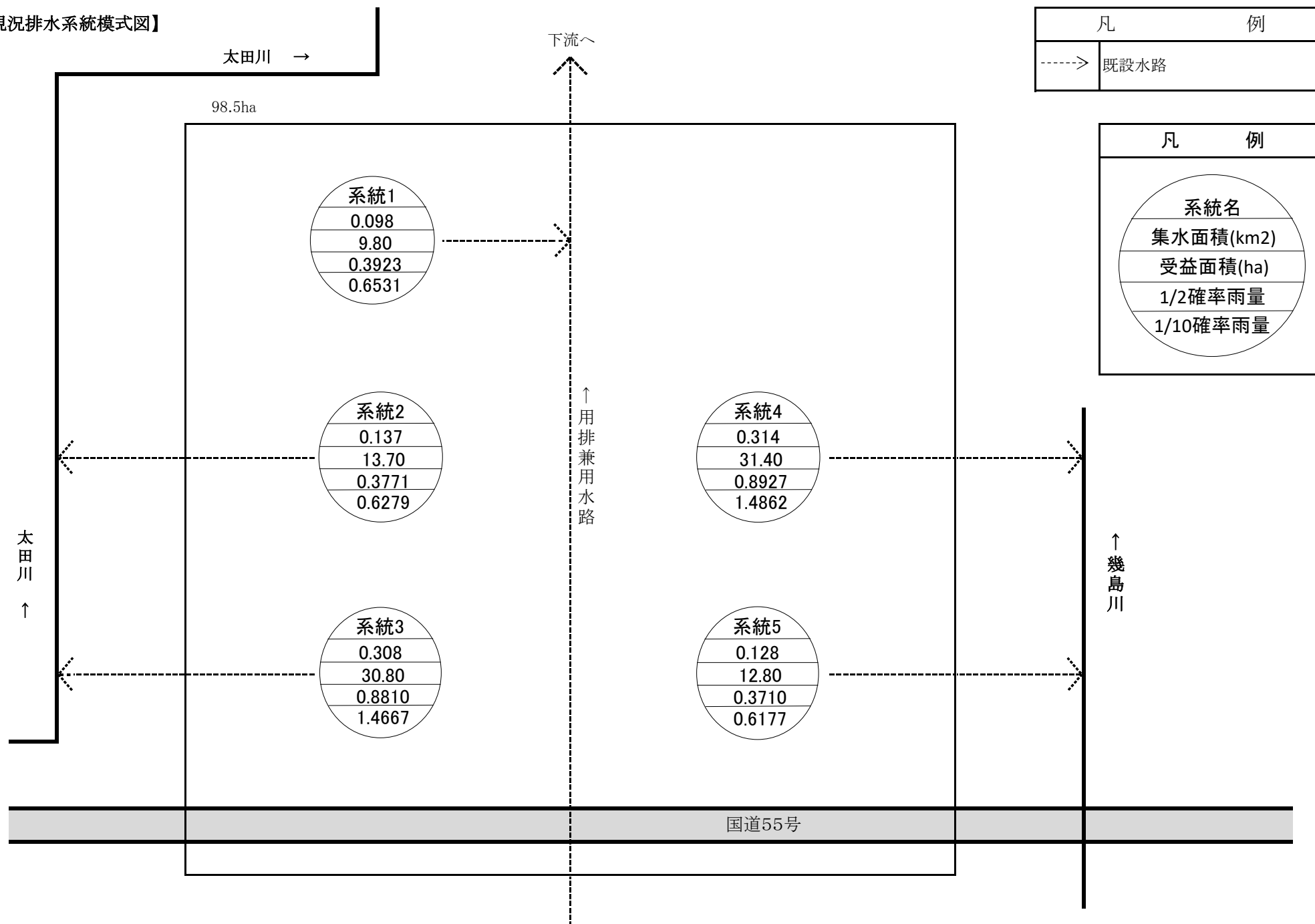
(1) 河川の現況

該当なし

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

【現況排水系統模式図】



第4節 道 路 現 況

1 道路概況

本地域は、地区南側を国道55号が横断し、西側を県道大京原今津浦和田津線が縦断している。地区内には多くの市道が通っており、集落と国道・県道とを結ぶ。地区内を南北に縦断する市道を基幹として、農道等の道路網が形成されている。

2 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路 線 名	管理区分別	延 長 (km)	幅 員		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
1	55号線	国	—	25.0	—		否	
2	県道 大京原今津浦和田津線	徳島県	—	8.0	—		否	
3	二級市道 色ヶ島野神大久保2号線	阿南市	—	6.5	—		否	路線番号161
4	その他市道 色ヶ島島尻線	〃	0.8	4.8～5.0	—	コンクリート	否	路線番号13034
5	その他市道 江野島太田手塚畠線	〃	0.7	6.0	—	コンクリート	否	路線番号13051
6	その他市道 江野島鴨田太田線	〃	0.2	2.5	—	コンクリート	否	路線番号13074
7	その他市道 江野島広瀬女郎田線	〃	0.1	3.2	—	コンクリート	要	路線番号13075
8	その他市道 江野島女郎田線	〃	0.1	2.4	—	土	要	路線番号13076
9	その他市道 江野島女郎田太田線	〃	0.6	4.0	—	コンクリート	否	路線番号13077
10	その他市道 江野島広瀬3号線	〃	0.1	2.0	—	コンクリート/土	要	路線番号13087
11	その他市道 小延水玉利2号線	〃	0.1	2.0	—	コンクリート	否	路線番号13090
12	その他市道 江野島広瀬中島線	〃	0.2	3.0	—	コンクリート	要	路線番号13092
13	その他市道 江野島中島幾島線	〃	1.2	2.3～4.5	—	コンクリート	要	路線番号13093
13	その他市道 江野島吉ヶ内線	〃	0.2	3.0	—	コンクリート	要	路線番号13094
14	その他市道 小延江野島線	〃	0.4	2.3～4.0	—	コンクリート/土	要	路線番号13097

2 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路 線 名	管理区分別	延 長 (km)	幅 員		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
15	その他市道 小延中原線	〃	0.2	1.8	—	土	要	路線番号13098
16	その他市道 江野島柳ヶ内羽村線	〃	0.3	2.0～2.8	—	コンクリート/土	要	路線番号13099
17	その他市道 江野島柳ヶ内吉ヶ内1号線	〃	0.1	1.5	—	コンクリート/土	要	路線番号13100
18	その他市道 江野島柳ヶ内1号線	〃	0.1	2.0	—	コンクリート	否	路線番号13101
19	その他市道 江野島柳ヶ内湊1号線	〃	0.1	2.3	—	コンクリート	要	路線番号13102
20	その他市道 江野島柳ヶ内吉ヶ内2号線	〃	0.5	2.8	—	コンクリート	要	路線番号13103
21	その他市道 色ヶ島向原線	〃	0.4	2.5	—	土	要	路線番号13104
22	その他市道 江野島柳ヶ内湊2号線	〃	0.6	4.0	—	コンクリート	否	路線番号13105
23	その他市道 江野島柳ヶ内2号線	〃	0.1	3.3	—	コンクリート	否	路線番号13374
24	その他市道 江野島広瀬太田線	〃	1.0	3.2	—	コンクリート	否	路線番号13391
25	その他市道 江野島鴨田広瀬線	〃	0.4	2.0	—	土	要	路線番号13403
26	その他市道 江野島広瀬4号線	〃	0.2	4.0	—	コンクリート	否	路線番号13411
27	その他市道 江野島広瀬5号線	〃	0.1	2.0	—	コンクリート/土	要	路線番号13413
28	その他市道 江野島中島京免線	〃	0.3	4.0	—	コンクリート	否	路線番号13414
29	その他市道 江野島羽村京免線	〃	0.3	2.0～3.5	—	土	要	路線番号13416

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

国勢調査 (R 2 年現在) (第7表-1)

項 目 市 町 村 名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 給 水 道 熱 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 飲 売 小 食 売 業 店 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
阿南市	31,581	2,297	41	427	13	2,445	6,893	433	1,435	4,004	619	247	10,939	1,449	339	
計	31,581	2,297	41	427	13	2,445	6,893	433	1,435	4,004	619	247	10,939	1,449	339	
比 率(%)	100.0	7.3	0.1	1.4		7.7	21.8	1.4	4.5	12.7	2.0	0.8	34.6	4.6	1.1	

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス (R 2 年) (第7表-2)

区分 市町村	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当平均農用地面積(ha)						耕地の 分散状況		専兼業別農家数(戸)			備考		
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5 ～ 10	10 ～ 20	20 ha 以上	規 定 用 け の 場 合	外 の を る の	適 受 も	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当 団 地 数	団地当 面 積 (ha)	専 業		兼 業	
		第1種		第2種																						
阿南市	2542	69	481	1130	477	194	105	48	24	7	7	-	1.04	0.04	0.04	1.12	-	1.12	-	-	-	-	-	-		
計	2,542	69	481	1130	477	194	105	48	24	7	7	-	1.04	0.04	0.04	1.12	-	1.12	-	-	-	-	-	-		
比率(%)	100.1	2.7	18.9	44.5	18.8	7.7	4.1	1.9	0.9	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

3 動力農機具及び主要家畜頭数

農林業センサス (H 27 年) (第7表-3)

市町村名	項目	動力農機具										主要家畜				備考
		動力耕耘機 農用トラクター		動力防除機		動力田植機		バインダー		自脱型コンバイン		乳用牛		肉用牛		
		数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
阿南市		2,901	2,677	—	—	2,267	2,241	—	—	2,124	2,077	—	2	—	14	
計		2,901	2,677			2,267	2,241			2,124	2,077		2		14	
100戸当数量 (台、頭)		108		—		101		—		102		—		—		
利用戸数割合 (%)																

4 主要作物作付状況

(第7表－4)

農林水産関係市町村別統計(R5年)

市 町 村 名			阿南市				計	平均	作付率 (%)	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			4,420				4,420	－		
区 分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当収量 (kg/10a)		
田 及 び 畑	表 作	水 稲	3,580	460			3,580	460	81.0	
	小計		3,580				3,580		81.0	
	裏 作									
	小計									
計			3,580				3,580		81.0	
市町村別延作付率(%)										

5 農業の動向

(第7表－5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			家 畜 頭 数			動 力 農 機 具 台 数			その他	地域 指定等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)			
変化の状況 (C年を100 とする指数)	総農家数	122	105	耕 地	129	121	水 稻	145	129	肉用牛	101	－	耕耘機及 び トラクター	123	103			
	専 業 農家数	143	173	田	138	131	麦 類	－	－	プロイラー	70	78	自脱型 コンバイン	116	96			
	第1種 兼 業 農家数	118	54	畑	85	97							田植機	111	93			
	第2種 兼 業 農家数	118	95	樹園地	91	70							動力防除機	－	－			
	農 業 従事者 数	121	97															
変化の理由	社会・経済情勢の変化 による			社会・経済情勢の変化 による			社会・経済情勢の変化 による			社会・経済情勢の変化 による			社会・経済情勢の変化に よる					

A:平成27年農林業センサス

B:平成22年農林業センサス

C:平成17年農林業センサス

第6節 地域環境の概況

本地区の農地は未整形で道路も狭小であり、水路は用排兼用水路であるため水管理等に多大な労力を費やしているのが現状である。担い手の減少と高齢化の進む中、営農の継続が困難となっている。

また、池沼、水田、水路などに生育するヒメズワラビやサイコクヒメコウホネ、川端や池畔などの水湿地に生育するアゼスゲ、ウスゲチョウジタデ、魚類ではニホンウナギ、ヤリタナゴ、ヌマムツ、ドジョウなど、絶滅危惧IB類、II類、準絶滅危惧に認定される生物が確認されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

本事業により区画整理による大区画化や道路・用排水施設の整備など基盤整備を実施することで、農業の生産性向上ならびに担い手への農地の集積・集約化を促進し、本地域の農業競争力の強化を図る。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区 分	農地中間管理機構関連農地整備事業																		計	備 考
	田	輪 換 耕 地	普 通 畑	牧 草 地	果 樹 園	小 計	田	輪 換 耕 地	普 通 畑	牧 草 地	果 樹 園	小 計	田	輪 換 耕 地	普 通 畑	牧 草 地	果 樹 園	小 計		
事業の目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区 画 整 理		59.5				59.5													59.5	
計		59.5				59.5													59.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

区画の拡大、農道・排水路の整備及び用水路のパイプライン化を行い、大型機械の導入による農作業の省力化や、施設野菜などの高付加価値作物や裏作を促進する。また、農地を経営体に集積・集約することで、経営規模を拡大し、生産効率の向上及び安定した農業構造の確立を図る。

2 土地利用区分

(第9表－1)

事業名	土地利用区分	田 (ha)	輪 耕 換 地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	区 分											
農地中間管理機構 関連農地整備事業	現 況	61.2		0.1			61.3			2.3	63.6	
	計 画	59.5		0.0			59.5			4.1	63.6	
	現 況											
	計 画											
計	現 況	61.2		0.1			61.3			2.3	63.6	
	計 画	59.5		0.0			59.5			4.1	63.6	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	区分 地目	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備考	
				1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
農地中間管理機構 関連農地整備事業	現 況	水稲 野菜複合 経営	水稲				○△				×								○△				×								○△				×						収穫 ×
			きゅうり			○		×	×	×	×	×	×					○		×	×	×	×	×	×	×				○		×	×	×	×	×	×			播種 ○	
																																									移植 △
																																									定植 □
	計 画	水稲 野菜複合 経営	水稲				○△				×								○△				×								○△				×						
			キャベツ			×						△	△		×			×						△	△		×			×						△	△		×		
			ブロッコリー			×					△		△	×			×						△		△	×			×						△		△	×			

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 地目名		作物名	作付面積			作付率		単位面積当収量			生産量			同左生産量増減の内訳		備考	
				(ha)			(%)		(kg/10a)			(t)			(t)			
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加		
農地中間管理機構関連農地整備事業	農地	輪換耕地	水 稲	59.7	56.8	△ 2.9	99.0	100.0	460	469	9	274.6	266.4	△ 8.2	△ 13.3	5.1		
			きゅうり	0.1	0.0	△ 0.1	1.0	0.0	11,132	11,132	0	11.1	0.0	△ 11.1	△ 11.1	0.0		
		裏作	キャベツ	0.0	2.0	2.0	0.0	4.0	4,469	5,139	670	0.0	102.8	102.8	89.4	13.4		
			ブロッコリー	0.0	2.8	2.8	0.0	5.0	1,202	1,382	180	0.0	38.7	38.7	33.7	5.0		
		計			59.8	61.6	1.8	100.0	109.0				285.7	407.9	122.2	98.7	23.5	
		畑	表作															
計																		
合計			59.8	61.6	1.8	100.0	109.0				285.7	407.9	122.2	98.7	23.5			

5 労働改善計画

(第9表－4)

事業名	項 目	作 物 名	作 付 面 積 (ha)	単 位 面 積 当 労 働 投 下 量 (hr/10ha)				備考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
農地中間管理機構 関連農地整備事業	輪 換 耕 地	水稲	56.8	人 力	3,448	2,810	△ 638	
				機 械 力	761	544	△ 217	
		キャベツ	2.0	人 力	12,160	10,400	△ 1,760	
				機 械 力	1,160	829	△ 331	
		ブロッコリー	2.8	人 力	23,620	18,900	△ 4,720	
				機 械 力	1,732	1,237	△ 495	
	計	61.6						
	合 計	61.6						

6 級地別土地利用区分 該当なし

7 土地配分計画 該当なし

第3節 用 水 計 画

1 計画基準年

昭和 52 年

2 計画かんがい方式

パイプライン(ポンプ加圧)

3 計画用水系統

計画用水系統模式図による

4 計画用水量

(1) かんがい用水

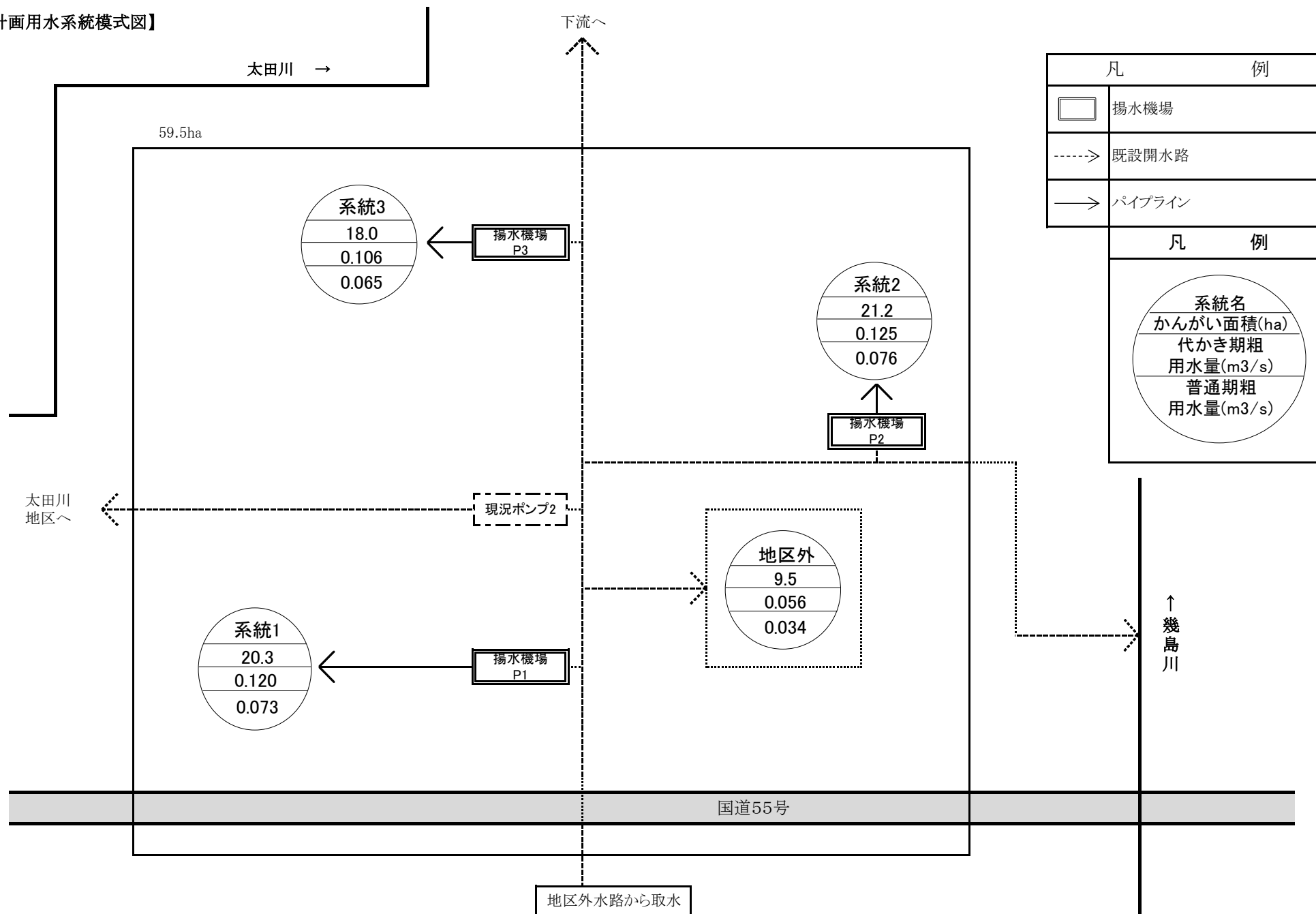
(第10表-1)

系統名	項目	種別	受益面積(ha)			水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換						消費水量 (m³/s)	損失水量 (%)	粗用水量		備考
			事業名									水田かんがい			畑地かんがい					平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	
			ほ場整備	計	普通期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	代かき期 計画かき 単位 用水量 (mm)	面 積 (ha)	一日当 計画平均かん 水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面 積 (ha)	普通期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	代かき期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	面 積 (ha)	一日当 計画平均かん 水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面 積 (ha)						
江野島	農業用水	59.5		59.5	—	—	—	(5.0) 5.0	(5) 5.0	0.1	(41.0) 34.8	171.0	59.4	(5.0) 5.0	(5) 5.0	4.8	(0.277) 0.235	10	0.261	0.308	()は 最大	

(2) 営農飲雑用水

該当なし

【計画用水系統模式図】



5 水源計画

(1) 水利用計画

(ア) 水利用計画

(第10表-2)

区分 項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用 可能量	田畑面 利用 可能量	純不足量	全不足 水量	水源名	水量		
	a (千m3)	b (千m3)	c = a - b (千m3)	d = c / (L-a) (千m3)		e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		
農地中間管 理機構関連 農地整備事 業	2,936	467	2,469	2,743	那賀川 北岸用水	2,743	2,743	△ 274	0	那賀川	2,743	ポンプ	3カ所

(イ) 取水計画

(第10表-3)

区 分		井 堰 お よ び 自 然 取 水 口				備 考
		現 況 (m3/s)		計 画 (m3/s)		
		しろかき期	普 通 期	しろかき期	普 通 期	
純 用 水 量		0.226	0.120	0.241	0.102	
損 失 水 量		0.056	0.030	0.027	0.011	
全 用 水 量		0.282	0.150	0.268	0.113	
利用 可能 量						
	計	0.282	0.150	0.268	0.113	
不 足 量		0.000	0.000	0.000	0.000	

(2) 用 水 対 策

(ア) 井堰及び自然取水口 該当なし

(イ) 貯 水 池 該当なし

(ウ) 揚 水 機

(第10表－4)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程	揚水量	台数	全揚水量	
		ほ場整備	かん排	計							
		(m3/s)	(m3/s)	(m)	(m3/s)	(台)	(m3/s)				
揚水機1	那賀川北岸用水	20.3		20.3	0.103	0.079	6.9	0.103	2	0.103	
揚水機2	那賀川北岸用水	21.2		21.2	0.106	0.082	6.7	0.106	2	0.106	
揚水機3	那賀川北岸用水	18.0		18.0	0.097	0.069	6.4	0.097	2	0.097	

(エ) 用 水 路

(第10表－5)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m3/s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事業名						
	ほ場整備		計				
用水路1	20.3		20.3	0.103	2.440	塩化ビニール管	
用水路2	21.2		21.2	0.106	2.230	塩化ビニール管	
用水路3	18.0		18.0	0.097	2.130	塩化ビニール管	

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水 温 水 質

該当なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

1／10 年確率日雨量 234.9 mm（ 徳島 観測所の資料による ）

2. 計画排水方式

自然流下

3. 計画排水系統

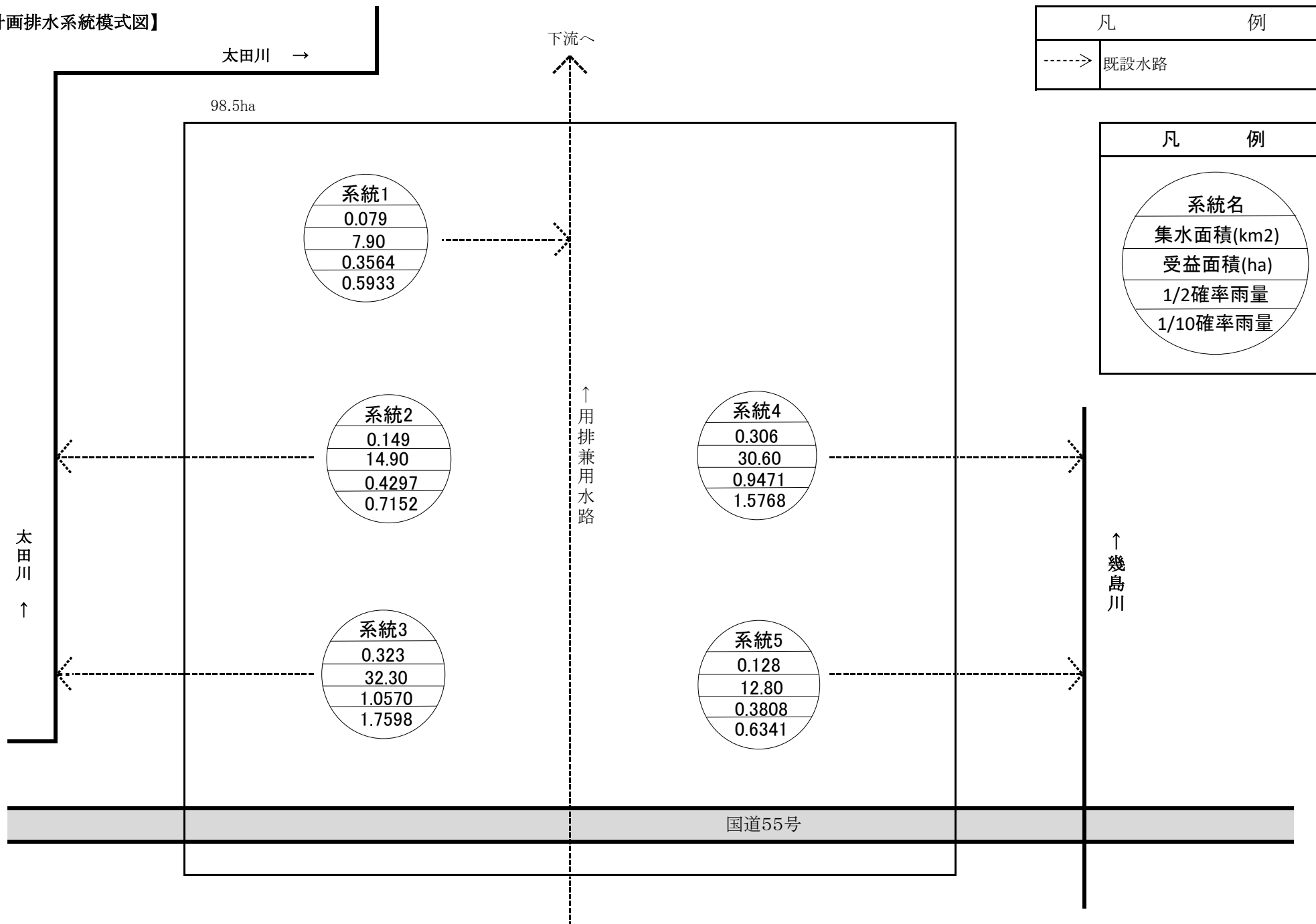
計画排水系統模式図による。

4. 計画排水量

(第11表－1)

項目 排水 系統名	受 益 面 積 (ha)			流 域 面 積 (km2)		基 準 雨 量 (mm)	降雨による直接 単位流出量 (m3/s/km3)		基底流出量 (m3/s/km2)		全排水量(m ³ /s)		単 位 排 水 量 (m3/s/km2)		備 考
	事業名						山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地			
	ほ場	かん排	計	山地	平地								山地	平地	
排水路	69.0		69.0	0.00	田畑 0.69 宅地 0.30	32.5	-	田畑 4.06 宅地 8.13			-	田畑 2.69 宅地 2.50	-	田畑 3.90 宅地 8.33	
					田畑 宅地			田畑 宅地				田畑 宅地		田畑 宅地	
					田畑 宅地			田畑 宅地				田畑 宅地		田畑 宅地	
					田畑 宅地			田畑 宅地				田畑 宅地		田畑 宅地	
					田畑 宅地			田畑 宅地				田畑 宅地		田畑 宅地	
					田畑 宅地			田畑 宅地				田畑 宅地		田畑 宅地	

【計画排水系統模式図】



5 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

(3) 排水路

(第11表－2)

項 目 名 称	流域面積 (ha)	受 益 面 積 (ha)			計画排水量 (m3/s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計 画 洪水量 (m3/s)	計 画 洪水位 (m)	
		ほ場整備	かん排	計							
支線排水路	98.5	59.5	—	59.5	0.00～0.66	6,620	角フリューム、柵渠 大型フリューム	水路	—	—	
計	98.5	59.5	0.0	59.5		6,620					

(4) その他 該当なし

6 湛水検討 該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(第12表－1)

項目 路線名	幅 (有効) × 延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
支線	4.0 (3.0) × 4,050	アスファルト、砂利舗装	新設	
耕作道路	3.0 (2.5) × 440	砂利舗装	新設	
合計	4,490			

索道

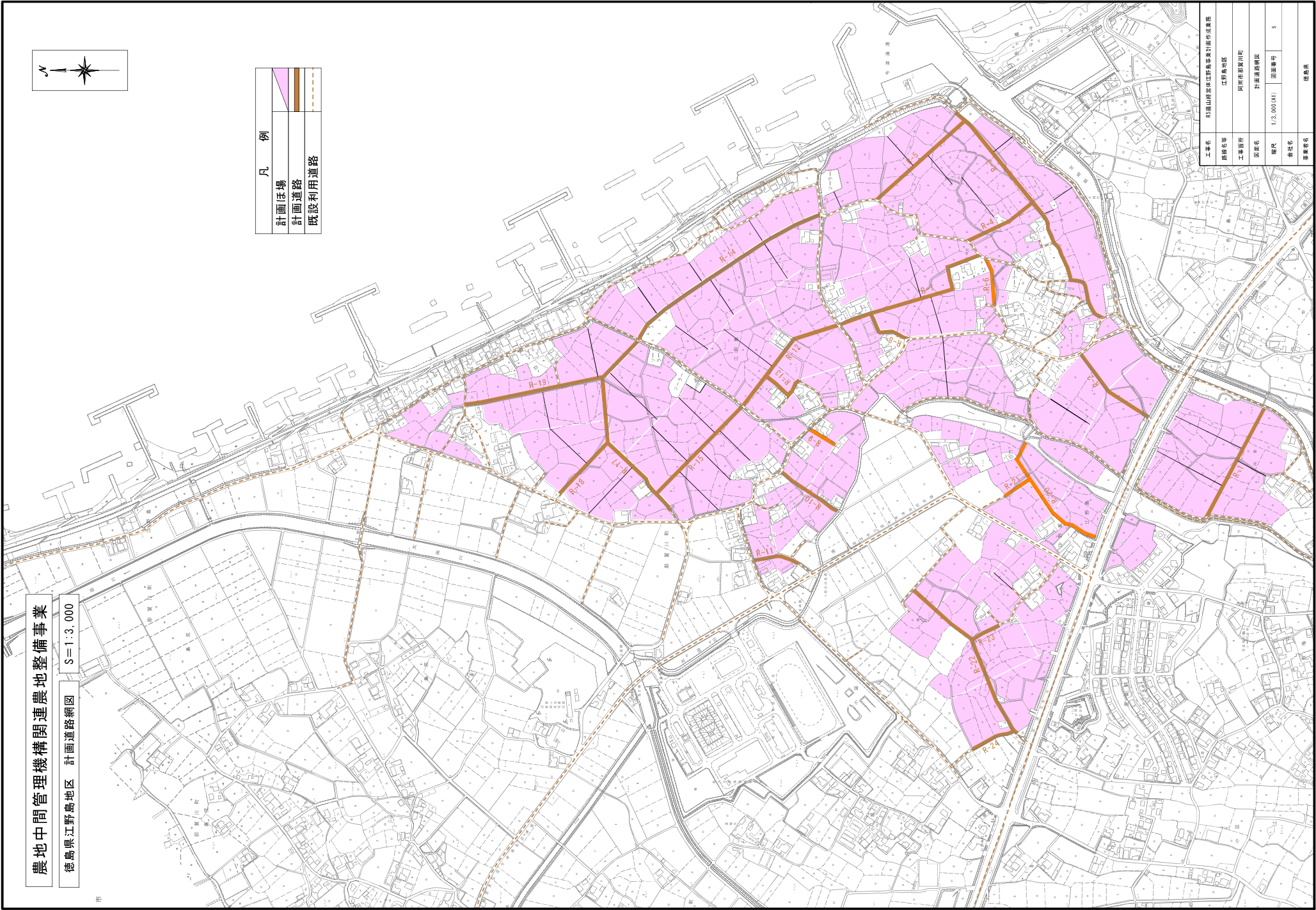
該当なし

(第12表－2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2 路線配置図

別紙のとおり



工事名	徳島県江野島地区農地整備事業
調査地名	江野島地区
工事箇所	阿南町江野島町
図面名	計画道路網図
縮尺	1/3,000 (A1)
巻数	5
作成者	徳島県

第6節 農用地造成計画	該当なし
-------------	------

1 農用地造成計画	該当なし
-----------	------

2 土壌改良	該当なし
--------	------

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量	該当なし
----------	------

2 計画洪水量及び調節量	該当なし
--------------	------

3 貯水池	該当なし
-------	------

4 洪水調節検討	該当なし
----------	------

5 管理計画	該当なし
--------	------

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

(1) 区画の形状

(第13表－1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区 画 面 積 (a)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 差 (m)	備 考
125 × 80	100	3.3	5.5		
80 × 75	60	54.2	91.1		
50 × 40	20	2.0	3.4		
計		59.5	100.0		

(2) 表土扱い

(第13表－2)

面 積 (ha)	表 土 扱 い 要 否 の 理 由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
59.5	地力保全上表土扱いを行う	20	119,000	

(3) 末端道水路配置図

別紙のとおり

2 暗 渠 排 水

該当なし

3 客 土 該当なし

4 農 地 保 全

(1) 防災林 該当なし

(2) 排水工 該当なし

(3) 侵食(崩壊)防止工 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

1 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 該当なし

(2) 計画洪水量 該当なし

2 堤体補強計画 該当なし

3 取水施設改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池 該当なし

2 頭首工 該当なし

3 揚水機

(第14表-1)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			実揚程	全揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 (KW)	台数 (台)	
揚水機1	那賀川北岸用水	0.103	6.9	13.0	陸上	150	2	モーター	11.0	2	
揚水機2	那賀川北岸用水	0.106	6.7	13.0	陸上	150	2	モーター	11.0	2	
揚水機3	那賀川北岸用水	0.097	6.4	14.0	陸上	150	2	モーター	11.0	2	

4 用水路

(第14表-2)

項目 名称	支 配 面 積 (ha)			通水量 (m3/s)	延 長 (km)			構 造	こ う 配	主 要 構造物	備 考
	事 業 名				総 延 長	開 き よ	そ の 他				
	ほ場整備		計								
江野島	63.6		63.6	0.097～0.106	6.8	—	6.8	塩化ビニール管	—	—	
計	63.6		63.6	0.097～0.106	6.8	—	6.8				

5 その他かんがい施設 該当なし

第2節 排水施設

1 排水水門 該当なし

2 排水機 該当なし

3 排水路

(第15表)

項目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排 水 量 (m3/s)	延 長 (m)			構 造	こ う 配	主要構造物 (箇所)	備 考
	事 業 名										
	ほ場整備		計								
支線排水路	63.6		63.6	0.557～1.768	6,620	6,480	140	角フリューム、大型フリューム、柵渠	1/1,000		
計	63.6		63.6		6,620	6,480	140				

4 その他排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

1 道 路

(1) 道路の総括表

(第16表)

項 目 区 分	路 線 名	幅(有効)×延長 (m) (m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量				
江野島	支線	4.0 (3.0) × 4,050	アスファルト、砂利舗装	—	—	—	6.0	—	—	
	耕作道路	3.0 (2.5) × 440	砂利舗装	—	—	—	6.0	—	—	
	合計	4,490								

(2) 道路主要構造物

該当なし

2 索 道

該当なし

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜 根

該当なし

(2) 除 礫

該当なし

(3) 開墾作業

該当なし

2 土壌改良

該当なし

第5節 洪水調節施設

1 貯水池 該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工 該当なし

(2) 導水路 該当なし

第6節 干拓施設

1 堤防 該当なし

2 潮止め 該当なし

3 附属施設 該当なし

4 埋立 該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(第17表)

工 区 名	面 積 (ha)	整地工		表土扱い		備 考
		標準区画	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
江野島	59.5	80×75	—	59.5	119,000	

2 暗渠排水 該当なし

3 客土 該当なし

4 除礫 該当なし

5 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(2) 排水路 該当なし

(3) 腐食防止工 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池 該当なし

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定 令和 7 年 4 月 1 日

完了予定 令和 16 年 3 月 31 日

第8章 環境との調和への配慮

(植物)

- ① 工事により発生する濁水等が水路に流入しないように配慮する。
- ② 事前に、水田の表土及び畦畔の土壌をほ場整備後に再利用する。(ヒメス^{ワラビ}、ミス^{マツバ}、ウス^ケチョウジ^{タテ}、コイヌ^{ガラシ}、カワ^ヂシャ、ノニ^{ガナ})
- ③ できる限り多くの個体を掘り取り、プランターなどで栽培し、工事後に田畔に植え戻す。(ミス^{オオハコ}、コガ^マ、クロ^{カリス}ス^ケ、アセ^スケ、ミス^{タカモシ}グ^サ)

(魚介類)

- ① 新設および付替え水路と現況水路との接合部において、魚類の移動を妨げないよう緩傾斜とする。
- ② 函渠部において段差を設け、夏場の水温上昇の抑制や、非灌漑期の水域を確保する。
- ③ 工事の際、濁水の流下、重機からの油流失、飛散に注意する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は那賀川左岸の低平地であり、農地は未整備である。このため、ほ場整備によって大区画化や道・水路などの基盤整備を実施することで、農地の集積・集約化及び大型農業機械の導入による経営の合理化、高付加価値農産物の導入によって産地形成を図り、地域の農業競争力強化を図る。また、これに合わせて換地計画樹立のための準備を作成することにより、事業着手後における換地計画の樹立及び換地処分の実施を適正且つ円滑にし、もって事業実施地区における農業構造の改善及び土地利用の合理化に資するものである。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第18表)

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
江野島地区	阿南市那賀川町	63.6

2 換地区を設定する理由

換地区は設定しない

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の面積の基準

(第19表－1)

地 区 名	地 積 の 基 準
江野島地区	換地区交付の基準とする従前地の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。

2 用途別予定地積

(単位:ha) (第19表-2)

換地区名	用途 前後	(取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地												機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計
			田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施工地 域に含める土地 (令第1条の4 ()書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創設 農用地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計			
							地土 良改 施設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 地	宅 地 等	計								
江 野 島	従前の土地	61.2	0.1	-	-	-	-	-	61.3	-	-	-	-	61.3	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	2.0	2.0	-	63.6		
	換地	59.5		-	-	-	-	-	59.5	0.2	-	0.2	-	59.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	3.9	-	63.6		
合 計	従前の土地	61.2	0.1						61.3					61.3		0.3	0.3							0.3			2.0	2.0		63.6		
	換地	59.5							59.5	0.2		0.2		59.7													3.9	3.9		63.6		

3 農用地集団化の方針

(第19表－3)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方式	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
江野島	地帯別、グループ別団地の設定はしない	換地は、各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に定める (母地集団化方針)	1戸当たりの団地数はおおむね1団地を目標	畦畔は移動畦畔とする

4 非農用地の換地方法

(第19表－4)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の 位置の概略	換地の手法	土地取得予定者	その他
江野島	雑種地	別添計画概要図参照	特定用途用地換地	従前所有者	
	墓地・ほこら		特定用途用地換地	従前所有者	
計					

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

等位別評価

2 清算の方法

増加額清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第20表)

区分 換地区名	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
江野島	令和12, 13年度	令和14年度	令和14年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

	事業種類	事業量	事業費
			(千円)
事業内容	農地生産基盤		
	ほ場整備	1 団地 A= 59.5 ha	1,109,000
	整地工	A= 59.5 ha	382,000
	道路工	23 路線 L= 4,490 m	116,000
	用水路工	38 路線 L= 6,800 m	124,000
	揚水施設工	揚水機場3箇所	302,000
	排水路工	44 路線 L= 6,620 m	185,000
	小 計		1,109,000
	その他		
	測量及び試験費	1 式	120,000
	船舶機械器具費	-	-
	営繕費	-	-
	用地及び補償費	1 式	51,000
	換地費	1 式	100,000
	小 計		271,000
	合 計		1,380,000
	工事雑費		35,000 (2.5%)
	地方事務費		69,000 (5%)
	総 計		1,484,000

概算事業費の負担内訳

(千円)

	工事費	工事雑費	事務費	計
国庫補助金 (推進費12.5%含む)	(62.5 %) 862,500	—	—	862,500
県補助金(農林)	(27.5 %) 379,500	(100 %) 35,000	(100 %) 69,000	483,500
市負担金	(10.0 %) 138,000	—	—	138,000
地元負担金	—	—	—	—
合計	1,380,000	35,000	69,000	1,484,000

第11章 効 用

(第21表)

事業名	項目	増加見込純益額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備考
	区分			
農地中間管 理機構関連 農地整備事 業	食料の安定供給の確保に関する効果	182,776	156,279	作物生産効果＋営農経費節減効果－維持管理費節減効果
	農村の振興に関する効果	166	－	地籍確定効果
	その他効果	7,377	－	国産農産物安定供給効果
	計	190,319	156,279	
合 計	食料の安定供給の確保に関する効果	182,776	156,279	
	農村の振興に関する効果	166	－	
	その他効果	7,377	－	
	計	190,319	156,279	総費用総便益比 1.15

第12章 関連する事業

国営総合農地防災事業 那賀川地区

第13章 現況・計画図面

1 現況平面図

別添「計画概要図」による

2 計画平面図及び土地利用計画図

別添「計画概要図」による

3 主要構造図

別添「計画概要図」による

第14章 予定管理方法等

1 管理すべき施設の種類

- ア 農道
- イ 排水路
- ウ 用水路
- エ 揚水機場

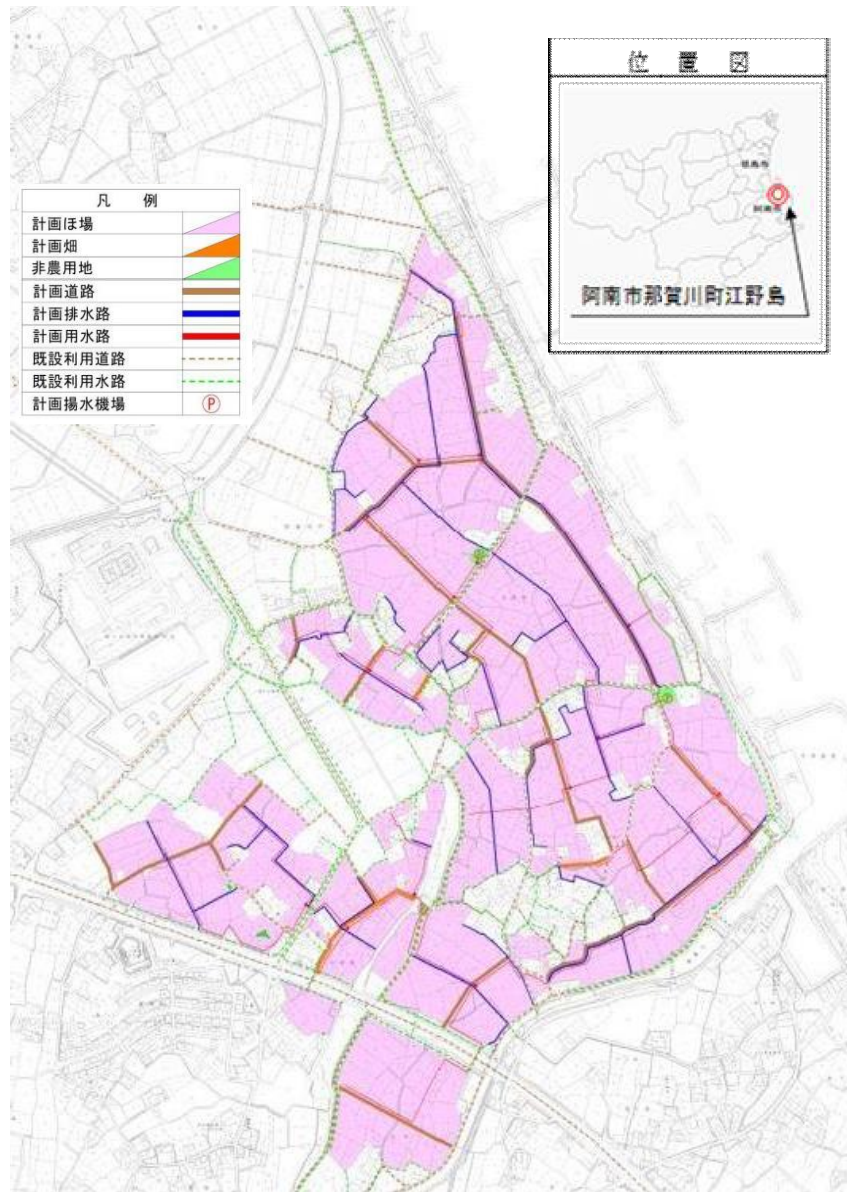
2 管理者

- ア 農道は、法定外公共物と機能交換し、阿南市が財産管理を行い、機能管理は阿南市と江野島土地改良区が協力して行う。
- イ 排水路は、法定外公共物と機能交換し、阿南市が財産管理を行い、機能管理は阿南市と江野島土地改良区が協力して行う。
- ウ 用水路は、江野島土地改良区が譲与を受け管理を行う。
- エ 揚水機場は、江野島土地改良区が譲与を受け管理を行う。

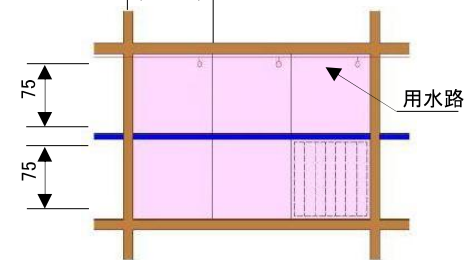
3 維持管理に要する費用の負担区分

- ア 農道及び排水路の維持管理に要する費用は、阿南市及び江野島土地改良区が負担するものとする。
- イ 用水路及び揚水機場の維持管理に要する費用は、江野島土地改良区が負担するものとする。

計画概要図

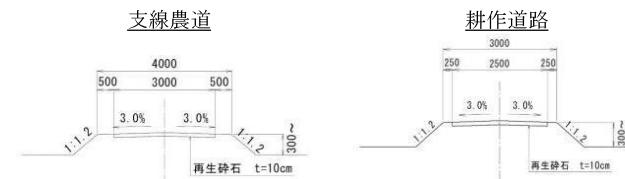


標準区画割図



標準構造図

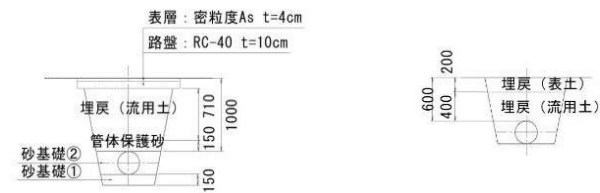
道路工



支線道路下

用水路工

耕地下



排水路工

支線

